

「第33回 広報セミナー」を開催

製薬協広報委員会主催の「第33回 広報セミナー」が2018年10月23日に経団連会館カンファレンス(東京都千代田区)にて開催されました。今回は、「医薬品産業の今後の展望」というテーマで、厚生労働省医政局経済課長の三浦明氏による講演がありました。



講演の様子

はじめに

会員会社の広報関係のみなさんにとっては、日常の企業広報活動において、行政からの話を直接聞く機会が少ないのかもしれませんが、製薬業界を取り巻く環境を行政の視点から考察することは日々の広報活動にとっても必ず有意義なものになるのではないかと推察から、今回のテーマを設定しました。当日は、会員会社から111名の参加者があり、その関心の高さがうかがえました。

講演内容

当日、厚生労働省医政局経済課長の三浦明氏の講演は、日本の人口が減少していく中で我が国の社会保障情勢についての解説から始まり、「薬価制度の抜本改革」について、また、「日本創薬力強化プラン」と「医薬品産業強化総合戦略」の改訂等について、詳細なスライドを用いながらもポイントがわかりやすく説明されていました。三浦氏は、終始、われわれ製薬業界が国民からどう見られていて、それに対してどう応えていく必要があるのかということをも根底にもち、さらに、そうした国民の視点を意識した活動・取り組みが求められているのではないか、という業界への期待を込めて「医薬品産業の今後の展望」について語り、参加者のみなさんも熱心に聴講していました。



(広報部 部長 箕部 泰生)

厚生労働省 医政局 経済課長
三浦 明氏